人倫訓蒙図彙 五

観音霊験記巻之五

西国廿六番法花寺
西国廿七番書写寺
西国廿八番成相寺
西国廿九番松尾寺
西国卅番竹生島
西国卅一番長谷寺
西国卅二番観音寺
西国卅三番観音寺

洛陽廿六番妙音院
洛陽廿七番照雲寺
洛陽廿八番観音寺
洛陽廿九番西蓮寺
洛陽卅番長谷寺
洛陽卅一番地蔵寺
洛陽卅二番観音寺
洛陽卅三番天王寺

九曜文庫

西國二十六番 播州法花寺

てらまでのみちのり
八里 本堂 大悲
加西 開基 より
文化十一年まで
九百七十四年に
なる

播磨國印南郡法花寺ハ千手觀音靈場。
上人開基なり。法道仙人ともいふ。かの
天竺乃人なり。はじめ霊鷲山中にすむ。
来りて。日域に来り。播州印南郡
法花山にとゞまる。その山八葉。かるがゆゑ
にゐとく。これ法花八葉乃かたちなり。
かのえ。法道これをおんぞく。じぶんあん
置なりといふ。くわんおんと心ざし
しん一宇を建立せり。法道つねにおさめ

雲霧記　弘法寺　三

宮殿、弘法寺をさう。二人弟鬼弥きこうして
法ゑたてまつる。弥をとゞ〳〵ゑ伝弥
ゑる。ようて田中れ人宮殿とゝ人べとゝ
恵ハ花なつハたちじゑあるこハくく
いつをゝゑ人せぬのりれ死ゝ

△浪陽安云雲物語　松永弾正の浪陽入命
文化十一年まて九百七〇

推この所なるとゝまるハ弘法大仏ある
と紀長長ちり一ちる系髪ゝ酒て

ひつあうをおゝうて生弱れ名ゑぜあん
のあかまんやちかもものひしゝ。弥慢恩
りひゝれて。堂色乃名ゑせあんがさの
ものゝをなつてつけ毎ゝ浅書記名
乃山ふありてゝりこれうさひさゝ為て
まぬ。ゝゝふきうゝてまこうある事宮
弥梅ゝ。ゝて其ゝ名ゑ紀ゑやゝり
ゝ名ゑ。大仏慈源所母弥ゝ浅あく
ゝおゝ弥ひそれより京都ゑ人

の八、高長さ八尺の十一面大悲像をたゞ
只観音菩薩大悲大願の御ちかひ
より始りぬ。ひとりの男ありて。法華
経波羅蜜ようつゝのひとるとゝのゝ
ち百ぢの人の乗ちかふ正法師とゝなる
法師ありける。尼徳いとゝ此人をあり。ゆゑ
和尚奥ゐ者ありゝうれふんぜあんぞさつ
つげうあいとく。ゆゑ八とれつの法雅波の
濤ふかして。家を利益ひるゝとゝと

海る。いよ海こ濤陽ようつ多ぶ。あんじ
来りてうちびくべゝとの法ひて考ゆ
ぬ。此国いそぢ雅波浦ふいうり見ゆる
して考のゝ。正法師。こづゝ。わ八
いゝせて。家ぢりの。この船ぢ波の
法華経をとしのゝとゝ。ゝれ
ぬゝあゝ。えんちの八法華経ぬ。正法師
八ゆうあり

これをきゝて八ゆるのらるゝ
きゝるそんしのゝ

西国三十三番
播州書写寺

ゑつけどうり六つ
本尊天部四面開基
ゆう文化十一ゑまで
八百二十ゑのうあり
ゆきさ遠ちまとり

播磨国書写山。如意輪観音。性空上人開
基。弘法大師作。開帳。毎月十八日。
人あまたつどひ。樹木とらいして。傷を治
らりていはく。けいきあり。西土あうりく。ふよい
つまんのうやまん。うきあふくきあ西ごまん。
西ん日きあうこ。ぶくらく。ぶまん一切きあ西きあう。
きんきあよ孫ん。そ推宣その。ぶごと新てこの
投撫かつけて。如意輪大悲観世音菩
薩一尺八寸。安置。法華経八巻。
命じて。是ときこ

ざ海ゝむ所ゝ夫者るかとりあつまるこの
こうえん賀するゝ人ゝ。まこと屋下ゝ清泉
源重ゝ。高えこうれとの光ぐくもるもら。
やまゝい平金ちりとうるり

まるぐとのそまこぱちゝよちやれゝ山ゝ源
ちつれ初ぐ出をこのりとするゝん

△浪陽女七書懸雲寺 紀家塚大文字入れまつり文化十二年ひのえ午十七日

ひぱかるぐ。ひゝ京紀ゝ運度とゝ仏師
ありゝ。あまこれかとけときざみなゝ色

ぱ。ゝけて一紙ひゝりとるゝ志ゝ。ゝ
旨望ぱ清長一人二寸ゝ
そ望ゝり源金ゝ。
ゝ清かるゝ。ゝ
中ゝ男女なゝて。
ぱ。ゝとゝて。ゝ
ゝまゝ海ゝる
なゝ人ゝ
命やゝれとゝ

西国二十八番
那須山成相寺

ちよしやでらより
ちかき堂塔三百
四面回廊
文化十一年と六百九十
七年まえ
正観音

那須西国巡礼歌。成相寺一樣ふもの歌。
後生菩提道ばりは食物ひとつ絶りて
ものりつゝ不法死後ゆみ。香花とん
ぶんぶんかさぐ。一名大雲山。
ふかのよりぐ。十月あまりうへおもぶ。
志うの西国巡礼ばこ。
こゝろしてさう。廉をぶかて食物とる
むすまへのごとう。雷ものれてさとん
きうりてとう。このとをかたるぞさく

人をべとおけてこれをうる。相撲の
のこあり。星人へこれなんぞ相撲とはる
ぬつ園れ相撲よ。なんぞろとうく。ふ
よわりひつぶさみまへのよ絵うる。星
人ぬめくいとく。うるんあんのまつり際
ぶいこあつまこ。この月兵庫あり寺ずて
うるんあんの獅投とうんまべ。きうるう
ふこうびあり相撲を出殿よあり。あるを
ぬんげまるよ。ぬんへうるあわあて寺ぬ

りとれとく出おひうり。それよの御
みあるを成相もるくふ。あるくいと
の傍ハ兵庫法師とうをりう微泥い
まぐつまびらうるぐるのの形り
あこのおくまつれひぐれもるりあよ
ぐぬこうるあ中のそうぐて
△淀陽安八番親方　ここのもかんねまり貞享
ひ清なるハ。西親方　ぬまて寺ぬ年あまり
絶うりむしハ。一条京橋よおりて海れ。

四海えんぶれば。世と変移あて。人起もろ
事数とさだ。なのちまきよみちく多り。
京都のかたちふれがえまいるもてときさる
死骸かうそなるに。をよそ一月中よりへとも
ふもろ。四方の遠国しへ流る為態まれ人あり
おく。流民の死よのぞむとをうみて。は
親類ふまでく。えやをとつ分人とふく
新塔とうけあひ。ものがるなれ後世と優
頭しのよ。彼えんまいり撫とくつれ

多人の死骸一人をのうだ人をて仮宅一
作ぬ二人ら下万民りいるまで。高貴
なりひとあり作る。これ仮宅。彼宝医れ新塔乃
ものる。親類大悲大悲の姫りて為ちとて
ひをとを人衆と名付。あるひい二女れ親類一
とを。ものりどり物のうんあれとくいれも
人れ物四ら世界の名付ものを為れとい親類とい
さたのあらをものるて親類奇
ものるて世あるの為

西国巡の番
丹後国松尾寺

あり。あいてこうけ二尊
本堂七間四面開基
しう文化十三年まで千
二十七年。ある者ハ
丹後国ゐまハ
若狭国のうちゑちまり
ゑちぜんにわたり
ありよりこうまでのこ

丹後国仏作郡。松尾寺馬頭観音ハひろうう
といふ人。開基なり。ゆえ人あるとき紀州
熊野ゆうぐよりしゅ。あくまうに姫ゐ
らせうこへまるうのあ去給ふにしよハぶく
これをなぐさてとむらふと海上ゑ
白ぐるふのりて上がりんぐ
いぐ。たゞよハ書よとを百ヶ月れ仏ゆを
ゐるこをゆる西へうぬ。なんぐくあ
なのひをよけとろふ。うち海ちゑハ又人

ば。よく〻見るべしとぞ。其あとのそのそて
ものの命。そるうに。そうて。れ。まれば。る。歌
観音。忽然として。亡。中。おりまたそれ
時。うつ。ず。の。名。武光。人。とも。せ。二。
め。紀。二。年。ち。れ。囲。碁。武光。人。と。同。人。
同。名。碁。術。いまだ。りんでんされざるりの
これ。亀。ハ。く。よ。へ。ぬ。ら。ん。こ。う。を。で
ち。せ。と。こ。に。ま。つ。の。を。れ。て。う。

△ 浪陽英光番西蓮寺 西蓮あり文化十一年まで
千十七ゑ。ゑ。あ。

番。ま。れ。は。ま。る。ハ。天。神。は。飛。御。長。二。尺。二。寸。十。二。西。れ
像。う。う。ひ。る。を。は。り。の。ま。で。先。一。本。れ。梅。の。ま
と。り。め。て。三。神。き。ぐ。ま。せ。の。ま。ま。り。ま。ま。ま。ま。ふ
長。寿。ち。れ。本。る。と。ば。ま。せ。ら。る。く。中。ハ。ち。る。本。ら
ま。ひ。ま。の。観。音。ば。ま。三。仏。ま。ま。ち。金。を。あ。ま。
る。ま。ま。は。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ば。り。ま。ま。に。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
西。ば。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
て。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

をとらぶとをぶ〻二世の願重　かのうすせ
いの事なりとて商人のまぐ〻ゆらてハれん
ぐくとうなのとうげ〻しまう石すてまん
しゆく〻願者ともいろう。ぶうれどもそなしび
くの紫孔雀御堂退散して。とは思ばう
を作るうち作るうぶうれどもとんあんの
像ハかを指じあつ〻まくあはちまる巳道
ふうんあんのうげまま海人西蓮寺
ゆ〻へのうゆくとうぶでうみ

西国三十番
沙羅行生塔

まつれとでうう
十七ぶ九ぶう
三百ぶのんういを
ふう文れ十一ぶまで
千四十四ぶあるる

遠江国浜井郡作手郷に観音堂
像八幡菩薩の霊験顕著なり。それ作手郷の
湖乃中ありて。霊験あらたし 日本又
奇異なる一物ありこれ八幡菩薩天皇四
郎のちなみて湖をなづけてたるなり
河の西富士の山ようちまちりいつる。景物
天皇十五年湖中に作手郷をもて先
浦出るなり。引菩薩ひきこれ
と化す。神女うちつれあひてり

菩薩あひ。ひとこゑ落りの大悲像をきざむ。新
を造立ーあへくいかおりて見るべ。
めて一宇を建立ー。新田天女像と云記。
うるはしく。新田郡を賜れざるを賜りを
あり。また八幡貴妃乃ちなん海ようち
あぐりのみをいかはあるまり
月を日ちなこまにうぶちくふーま
ふ祈りたうをつむうろせよ
浜陽三十番長寿寺 此堂ありこれさとり文化
十一年乙九百七年あり

寛弘元年六月十一日観音堂。天神の御像。法華
経八巻。彼神一本の梅をうえて。三
年ばかり観音の像をきざませ給ふ間。当寺の
像へ。梅木ありとく古の聖人の
の御ことく不動明王ゆへ。天王
おつりたる今天神ゆへ
後世なりなりたるのてらの御
とくとくとく後世ぞとうとき

西国廿一番
沙羅長命寺

ちくぶしまのてらの本尊
千手観音也弘法の
大師のきざみ
文永十一年十月三十日
よりあるゆへ新寺
とくとのてらの言
八十余年よりへたる

迦[illegible]の出[illegible]蘭生下[illegible]出命[illegible]三[illegible]人聖観音像[illegible]。
聖徳太子[illegible]所[illegible]奉[illegible]。[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]。[illegible]
の[illegible]なるとりて。[illegible]
[illegible]屋[illegible]。[illegible]
[illegible]とりつて。[illegible]観音の像
をきざみ[illegible]。一寸[illegible]建立[illegible]
やちとせやなるぎさになりきしのちぢ
をこぶあもんのうぐいすなりけん

△激陽世一番地蔵菩薩
[illegible]中[illegible]。正観音御[illegible]長[illegible]人[illegible]菩薩[illegible]大師[illegible]
九百五十七[illegible]

[illegible]形[illegible]。むかし[illegible]観[illegible]
[illegible]変[illegible]。[illegible]寺[illegible]
[illegible]なり。[illegible]同[illegible]
[illegible]。[illegible]地蔵[illegible]
[illegible]

[illegible]ん[illegible]
[illegible]地蔵[illegible]

西国廿三番

観音寺

ちうめいどうり
三ほとけんそう三尺
ほめんくいさつち
文化十一ゑまてる面
八十七ゑよあう

近江国芦浦観音。観音寺三尺許の仏像。
聖徳太子の作なり。太子近江国志
賀の郡を巡りたまひしとき。始めてこの
地にとどめて。おのれ自ら彫刻せ給ひし
ものなり。また太子の御作ひとりの観音
を。そこのところふうせ給ひ。あひ。
ゑを添へ給ひ。十体の観音とぞ。
さて。近江国のつ
ねに。芦浦観
ふ物なり。ここにてしてん

[illegible]奥のてくにてそ。奥ふあ[illegible]ぱたち
[illegible]よ先いしていふ。[illegible]ぎつむこれよりそ
[illegible]。そ[illegible]より銘[illegible]ちをこえつまりしまふ。
[illegible]孔[illegible]ちる[illegible]深[illegible]ちおをぞうつう
[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]れば
[illegible]ふり
[illegible]ふ[illegible]ちびさまへふ[illegible]ふ
[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ

△陽[illegible]二番[illegible]銘[illegible]ちる　此後[illegible]あり
九百九七[illegible]

[illegible]ちるハ。[illegible]尼大[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]
ハ十一面[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]の[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ちる[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]

西国廿三番
濃州長滝寺

観音ゝ像高さ一寸八分
行基菩薩の彫刻
享和文化十一の年
百ゝ年ばかりまえ
開基行基菩薩

長滝寺御縁起

長滝寺は、岩屋寺御縁起に、土佐の新善光寺
八幡の豊然阿闍梨、行基菩薩に奏聞ありて、
せめんをあんちせんと、祈ふ。延暦の中、と
こ、に、とんで、こゝろふかくこゝろいたる。
精舎建りて、奏をとゝいらぐるよ、あらう。
ひとつれきしをもろうよ。如来の中ゝ、あぶら
いづる。ちうを。けしれたる病をしてゝ。
見れこゝろよおかて。光照の徳、あんち
せん。そしあつ、来世と明せど、祈ぐりハ。

しはまをすくるあうんといふあるこうす
象のごとくいかいよろこびをなるまちす
一あんえんあんのざうとあんだにこれをうる悪
ひるよりえをうり。燈籠を悪鬼帝と号して額
を花鬼ごとしまいる。そのあぐらまくこと
ゆまづく今仏象の常燈ふれるとして二
流ふ。大童子弟子孫赤梅檀のまとをもつて。一所
三礼より二人三寸の太悪鬼と像りあり。鬼仏花
鬼法花六十巻のりんじとあつりて弾ひぬまき

ひくひもすりて十二面れざうとときざこそその仏多ふ
うあ下座ちう仏象とあつりあり。清教寺
三ふ仏の像とのちりあり。そもくこの
かとけのぼ生ありとハ仏和ちの梅りく
神示ふてりくしゲ。子供ふ。ちるいの宮主死
形のかちうよとびえうを弾ひぬ。そのとうれどん
なハ奥列位人大口義良といふ人ちう。ちう
くいんどる。後主和ちう仏を位形を像り
絵ものひぬ。めつまとちて。ふ仏像ふ仏四ちふ

影の意良久なりと建立してあらめと
てまつる也。云々。西よりまつる大徳人と
なる。是ものもちこのとき偽よる毒。長者号
とふ物なる。比丘尼の出るまさうの池いでき
たのまさうの。池あるたりて。はちと毒龍
なるもいかく。二ぢすすくごとうとうとしへと
を。あくべきもしてうるしうつくと偽りとふく
ようつものちいとたのこわく
ぐはこうけうりいぐるしふぐこ

△清陽山三蓮天王寺
指天満大自在天神八菩薩恵相尼霊ろう昌泰四
年。時平九歳書よりて。祇園ふるぐされ山へて。
延喜三年二月廿日小蔵を記をいまこ記を彩り
一巻九巻文とさうげて天帝に祈るぐ山へ
天威徳天神とるくて天考四年八月廿日
尼堂らすのあり寛と偽る。金剛山人金剛
蔵王菩薩とうる。時よ人のひら金剛山
とてうる。尼堂りて山光いかるぐ

うそや。義経のりさきらく。と大政大臣天きと
らんとこ。御史のるよ。西方九郎ちうの船
人数儀ゐる定よして。おまるよをひ。あるこ
ろを西方九郎より使者小船にうつ。こと乗りかへ
いろ〳〵きぶく〳〵なりあるひい。金財力主ごと。
あるひい書電報。東西の新のごく。ちゐてご
おそろしさあり。海こ。をのく〳〵弓箭の日枝と
ものう。大政天と義経ひおりく。うを
うんとしゐとこ。九郎とうらうそのこ

まく。ひくをいざるをそて。我あるとこ海河
見せ。いつよとあり〳〵河義経とれと拾ふ。
を河内国ゐ。一ツ九郎ちうよのし先てゆる
数百里。や記事凡のどくくよして一ツ九郎
ゐる海よいる。中よ大きゐ海海あり。屋きら
百艘ゐ。中よ煙あり。海の中ゐ蒸気あり
うてゐ九郎人に蒸気あり。船の中よ船蒸
華を蒸気。船のひ〳〵西乃浦ゐ。新九郎
ちらと。そ海の矢篠ちう事。よ〳〵ばり

のびてゝ。ゆゝしき大きなる城なり。そこのうちへ
あるゝ。ひとりあり。大政天。名聞よりはるかに
我にまされり。人のおもひ。世の人。
よりはるかまさりて。日本大政威徳天と呼てゝ。
[illegible]
ばかりあり。[illegible]国土一切衆生の[illegible]
つゝさどる。我[illegible]と[illegible]
[illegible]人と[illegible]。[illegible]
つゝく。[illegible]て。[illegible]

大海とあらく八十[illegible]を[illegible]て[illegible]となり[illegible]
て。我[illegible]とおさん。[illegible]
[illegible]教と流[illegible]
とりつく。[illegible]
[illegible]生[illegible]
我[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

極楽をあらはすよりは地獄をしめすにしかず
やむのみ。仏経云。南閻浮提の人民。須弥火雷
鉄を積て。万年説法の寿命なし世界
みよし。須弥山の人民や大政天へ行く。命終
をかく仏法を信ぜず。鬼は萬劫をまぬかれ
神は我背三尺にして雷気毒虫と云所也。我
身ハあるべし。此世のときに歴年は信心
あ善心の事の見るべし。我ハ宮とせよといふ。こ
生むしの地獄にたえなくばそなへ。やうしてと

一人の人をたすく。何事も人間に得て。わたし
我が侮念あるべし。我心を得り。我名は
妙法蓮華経の其念仏世は我々が信じ念仏する人。
上人のいふことを信じて。信心の我が菩薩は我は父あるよ
云ふ人の宮と申すと。宮を信じ大乗仏山に生る。
弁財天をたよりにせよ。是生の事ども申されて。せ
地よ申しける。世の学者の根は今も信念
とく。又須弥大天の仏法に和らく後天政ぞ。
十六万八千年といふ。毒害をなせども天下にうけず

形遮山のさまりあさうび。延長八年に死去。
平帝世高重長よりあさし。死をうな。彼火高気毒を
のあつごこ。又寄後寺。法隆寺。延暦一堂材ち寄
れ。大るとよび大内の焼し事。寄これ寄この後ん
のあつ。ひとくのとくれ絶絶。ひとりこと絶とく。た
る事。皆国泰のみちど。
とへど。りうう、うあれの。こるあよいるごとう。
延暦元年。疫病度所のいうる事。こあれのうんぞ
くあ形のおこうれ。こ。高雲八幡。とよむ

我海流をうく記してゆうさうう。うるう経へうこう
うう川ぬううにうび。天応元年七月十六日。六条
の堀川野さよ花して。
欲ひとこをあるうちうう中くして受播をるに
あううび。うづに家のうこうるよ。ひく百屋
こう。六月九日ちめて小雨ふうう。法乱ふ
風九月三月。紅海流れ社の祢宜。
て。大内乃中おふ。なのわ一夜に生ちうう。
ちよ社壇とて。天海大自在天祢。ああうう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雲水庵

[illegible]

[illegible]

文化十一乙酉十一月吉日

皇都書林

勝村治右衛門

菱屋治兵衛